

南越農林だより

あなたの集落に担い手はいますか？



認定農業者と
集落営農組織 など

平成19年度から品目横断的経営安定対策がスタートします。

このため、南越農林総合事務所では、認定農業者になりたいと考えている農業者の皆様や、集落営農を進めようとしている皆様のお手伝いをさせていただきますので、農業経営支援部へお気軽にご相談ください。



集落営農について説明する普及指導員

HELLO!

はじめ
まして

新規就農者紹介

安全・安心なお米を作りたい



南越前町鯖波 笛吹 剛健さん

昨年、家業を継ぐため就農しました。南越前町（南条地区）で、水稻を中心に大麦、大豆、そばをつくっています。

昨年は、あっという間に1年が過ぎてしまいましたが、今年は一日一日を大事にし、作物の生長をしっかり観察したり、栽培管理や機械作業などを頭と体で覚えていきたいです。また、安全・安心なお米をつくることに興味を持っているので、低農薬低化学肥料での米づくりを父母とともに今後も続けていきたいです。

南越農林総合事務所

越前市上太田町41-5 TEL (0778) 23-4545

URL <http://info.pref.fukui.jp/nourin/sougou/nanetsu/>

E-mail nan-noso@pref.fukui.lg.jp

平成18年5月19日

No.19



健康長寿な福井です。

日野川用水の給水が開始されます



昭和48年の異常渇水を契機に始まった国営日野川用水農業水利事業が完工し、南越農林総合事務所が実施してきたパイプライン工事も完了したので、4月から下流域の3市1町の水田約5,610haに農業用水を給水することになりました。

これらの事業によって整備された、八乙女頭首工や幹線用水路等の施設は南越農林総合事務所と日野川用水土地改良区が管理し、安定的に用水を給水します。

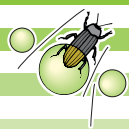


きれいな通水を喜ぶ農家の人たち



下流域に用水を送る八乙女頭首工

みんなで集落の資源・環境を守ろう



農地・水・環境保全向上対策について

今まで、農家をはじめ集落の方々が中心となった共同の作業により、大切な農地や農業用水等が守られてきましたが、高齢化などにより維持管理を行うことが難しくなっています。そのため県では、地域ぐるみで農地や農業用水等を守る共同活動を支援する新しい制度の導入に向けて取り組んでいます。

この制度は、農業用水等を保全管理する共同活動と、用水路などの施設を長持ちさせるための取り組みや水路沿いの植栽、生物にやさしい管理などに地域住民も参加した、地域ぐるみの活動を支援します。



地域ぐるみでの農道・水路の草刈り作業

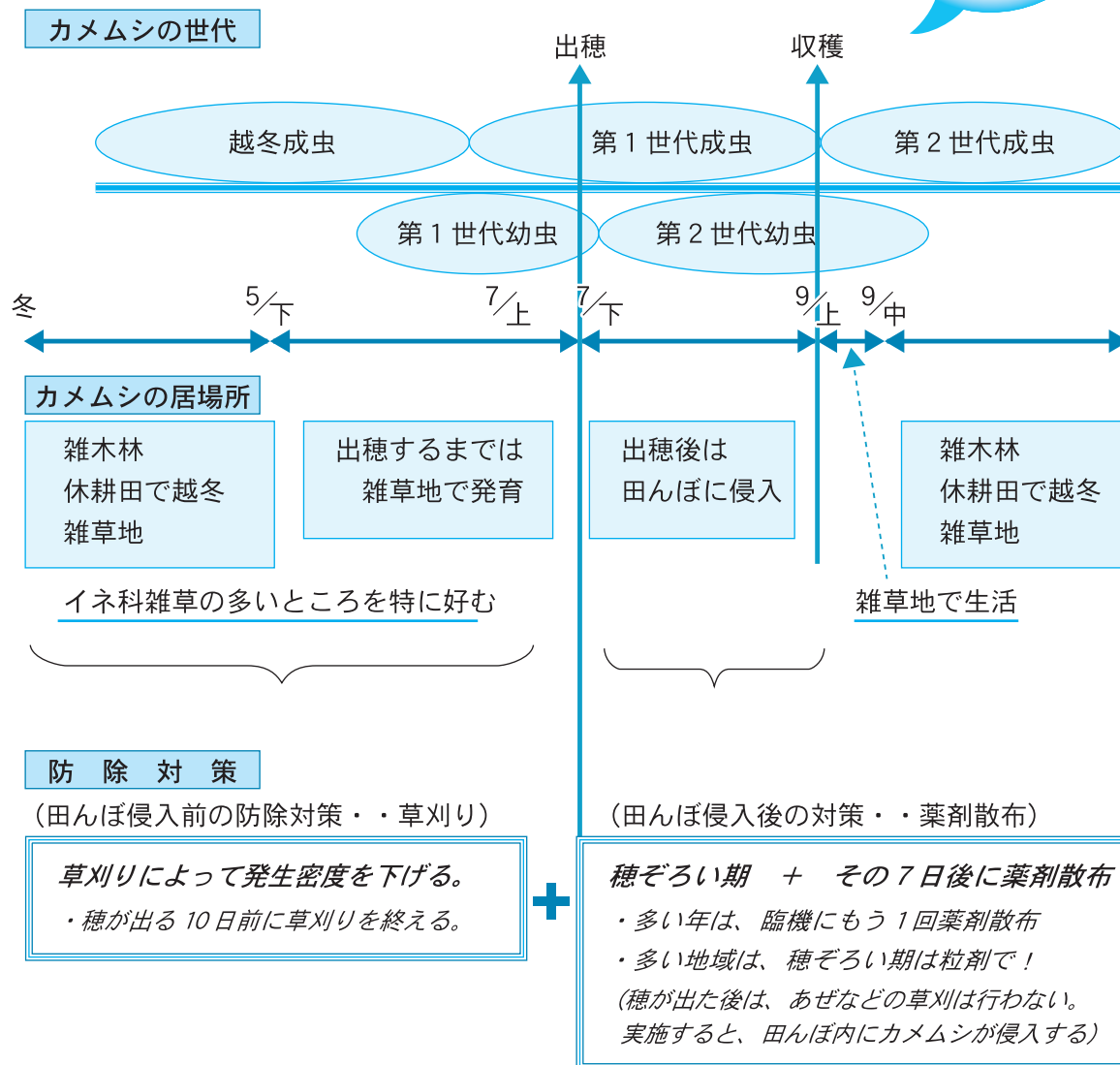
おいしい米づくりも見た目から ～斑点米を減らすために～

ここ数年、斑点米の原因となるカメムシが増えています。これにより、斑点米による等級落ちが増え、昨年の南越管内のコシヒカリの一等米比率は57%と、たいへん低くなりました。

今年は、草刈りと薬剤防除を適切に行い、品質向上に努めましょう。



1 斑点米カメムシの生態と防除法



2 薬剤を散布するにあたって

夕方の薬剤散布が効果的です（カメムシは夕方に活発に行動するため）。

お知らせ コーナー

農産物に残留する農薬等の規制が大きく変わります!!

平成18年5月29日から、すべての農産物に関してすべての農薬等の残留基準が設定されます。そのため、**基準を超えた収穫物は販売することができなくなります。**

農薬の使用に当たっては、次の点に注意してください。

- 農薬取締法に基づいて登録されていることを確認
- 農薬のラベルに表示されている使用方法を必ず守る
- 農薬の使用状況をきちんと記帳する

また、飛散の影響をできるだけ少なくするために、

散布時には、

- ◎ 散布量が多くなりすぎないように気をつけましょう。
- ◎ 風の弱いときには風向きに気をつけて散布しましょう。
⇒ 風下に別の作物があるときは特に注意しましょう。
- ◎ 散布の方向や位置に気をつけて散布しましょう。
⇒ できるだけ作物の近くから、散布したい作物だけにかかるよう心がけましょう。
- ◎ 周辺に収穫直前の農作物がある場合は特に飛散を少なくするよう心がけてください。



これから始める野菜作り研修会

定年後に就農を考えている方や、園芸に興味を持っている方、これから野菜作りを始めてみませんか？

今、地産地消が大きなブーム。特に消費者からは新鮮で安全・安心な地場農産物が求められています。まだまだ量が足りません。

このため、地場農産物の中でも特に鮮度が求められるホウレンソウやコマツナなどの葉物について、その栽培から出荷方法までの研修会を開催します。ふるってご参加下さい（ご希望があれば、研修会終了後、個別に就農相談も承ります）。

対 象：出荷意向のある方（家庭菜園希望は除く）
日 時：平成18年6月11日(日) 10:00～12:00
場 所：南越農林総合事務所 農業技術研修館2階
申し込み方法：準備の都合がありますので、6月5日
までに下記担当者にお知らせ下さい。

問合せ先：0778-23-4545 内線273
(担当 農業経営支援部 瀬野)

チャレンジ
ざ
園



「今年はエコファーマーに取組んでみたい。」
と語る越前市大塩町の小泉さん

お知 らせ

福井県特別栽培農産物認証申請書の受付について

今年2回目の申請となるのは、対象作物等（麦、そば、秋冬野菜、精米）と小分けで、申請期間は6月1日～6月31日となっていますので、申請を予定している方は、お早めに。



第48回福井県緑化大会が開催される！



平成18年4月29日、南越前町古木にある「リトリートたくら」という施設で、「一つの命、種を落とせば 広がる緑」をテーマに、森に木を植え、緑を守る式典行事「緑化大会」が県民約500名参加のもとで行われ、その記念として西川知事、松崎県緑推委員長、増澤南越前町長が、緑の少年団とともに旧今庄町のシンボルであるトチノキを植えました。

これを踏まえ、榎谷ダム上流部に200本のクヌギ等の広葉樹を植える森づくりツアー、森の災害を防ぐ堰堤の探訪ツアー、かつて交通の要所であった木の芽峠の散策ツアーが催され、参加者らは南越前町の豊かな自然や歴史に興味深く触れていました。また、より広く緑化に親しんでいただくため、苗木や花の種が全員に配られました。

この大会での体験・参加を通じ、県民一人一人が森を守り育て、木を利用することの大切さを実感することができました。

記念植樹の様子



豊かな森に願いをこめて

森づくりツアーの様子



大きくなあれ、ぼくのうえの木



緑の募金にご協力を！！

平成18年も3月22日から5月31日を緑の募金期間として募金活動が実施されています。募金は、家庭・企業・学校・職場で行われ、森林の整備、緑化の推進、緑を通じた国際協力に使われています。具体的には、集落単位で苗木の植栽を行う地域の緑化活動、公園・学校に植栽する緑化活動、緑化イベントに行う苗木の無料配布、森林の整備を行う学校やボランティア活動の支援に有効利用されています。

今後も緑の募金活動、募金用途にご理解いただき、県民の方からの募金のご協力をお願いいたします。

県税からのお知らせ

自動車税の納期限は5月31日(水)です！

ご自宅に郵送された納税通知書（はがき）にて、お近くの金融機関、郵便局、または南越県税事務所の窓口で納付してください。

**南越県税事務所では、
休日・夜間窓口を開設いたします。**

【休日】 5月28日(日) 午前8時30分～午後5時15分
【夜間】 5月29日(月)、30日(火)、31日(水) 午前8時30分～午後8時
【臨時納税窓口】 5月28日(日) 午前10時～午後7時
アル・プラザ鯖江 1階セントラルコート

福井県南越県税事務所：越前市上太田町41-5（シビイ南側 南越合同庁舎1階） TEL 0778-23-4545（代表）

FIGHT!
**がんばり
ます**
家族経営協定

家族みんなで 夢の実現に向けて！

去る4月5日、南越前町今庄総合事務所において、竹内南越農林総合事務所長はじめ関係機関の立会いのもと、南越前町南今庄の井上重治さん（58歳）、妻 喜久代さん、長男 悦宏さん、長女 真由美さん、次男 高男さんが家族経営協定を結ばれました。

家族経営協定は、家族が話し合い協力して、将来の夢（目標）を実現するための決めごとを文書に書き、家族みんなで経営を発展させていくことを目的としています。

「初心に帰って、これからも農業に取り組んでいきます！」との抱負を語る井上重治さんご一家



直売に向けた野菜栽培の疑問にお答えします

昨年から地域農業支援員（南越管内で10名）の方々に野菜等の栽培講習や安全・安心な農産物づくりの指導を現地で行っていただいております。

野菜作りのコツを学び、直売所等への出荷を増やしませんか。



※ 講習等ご希望の方は、南越農林総合事務所農業経営支援部、角井(かどい)までお問い合わせください。



地域農業支援員、真柄さんの説明を熱心に聞き入る皆さん

「美味しい漬物づくりの極意」研修会のご案内

漬物加工販売に取り組んでいる方、またはこれから取組もうと考えている方を対象に、美味しい漬物づくり研修会を開催します。

1. 日 時 **6月2日（金曜日）午後2時から**
2. 場 所 **J A越前たけふ営農センター（越前市平出2丁目）**
3. 講 師 **針塚農産（群馬県）代表 針塚 藤重氏**

主な著書：「あざやか浅漬け直伝（創森社）」「極上めか漬けお手のもの（創森社）」
「NHK男の食彩、浅漬け（緑の風）」など

※研修をご希望の方は、あらかじめ農業経営支援部田畔(たぐろ)または角井(かどい)までお申し込みください。